

GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork

授業コード (科目ナンバリング コード)	48K01-002 (GG-GNL-3131)	科目名	GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork2			担当者	山岸 敬和
開講期間	Q 2 (集中)	単位数	3	学年	3~4	指定	選
履修対象学科	国際教養学科						
他学科履修	不可						
他の科目との関連							

[閉じる](#)

【副題】

ワシントンDCで学ぶ国際政治、国際経済、ジャーナリズム、国際キャリア

【授業概要】

「GLSフィールドワーク」ではこれまでの国際教養学の学びを実際の社会でどう活用するのかを検討することを目的とする。そのために、実際に日本国内外の現地に約3週間滞在し、現地の人々との関わりながら種々の実習を通して、国際教養学の知がどのように実践できるのかを考察を深める。事前・事後指導と実際のフィールドワークを通して、自らのテーマを設定した内容について、観察や体験を通して分析・調査し、それを報告書にまとめる。

このクラスは「講義」「演習」「実習」形式で行われる

【到達目標】

- ・国際政治、国際経済、ジャーナリズムについての理解を深める
- ・共通のテーマ、各自のテーマで英語でフィールドワークを行う
- ・インターン経験によってジャーナリズムの現場を体験する

【授業計画】

- 1) 講義説明
- 2) レクチャー：ジャーナリズム
- 3) レクチャー：国際政治
- 4) レクチャー：国際経済
- 5) 大使館訪問、ブリーフィング
- 6) 国務省訪問、ブリーフィング
- 7) 経団連訪問、ブリーフィング
- 8) 研究所訪問、ブリーフィング
- 9) 大学訪問、ブリーフィング
- 10) 日系企業訪問、ブリーフィング
- 11) シンクタンク訪問、ブリーフィング
- 12) インターン、報告
- 13) インターン、報告
- 14) インターン、報告
- 15) インターン、報告

【授業時間外の学習（準備学習等）】

自分の研究テーマについてのリサーチを進める
訪問予定先、講演者についてのリサーチを行う
インターン先に必要な準備を行う

【評価方法】

活動の参加程度50%、レポート50%で評価する

【テキスト／参考文献】

山岸敬和、Michael Callaghan Pisapia『American Politics from American and Japanese Perspectives』（大学教育出版、2013年）

【その他】

【添付ファイル1】

【添付ファイル2】

【添付ファイル3】

【リンク】